2021年度
ＳＤＧｓ報告書

2021 SDGs Report

TCC

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

Japan. Committed to the SDGs

地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム

Sustainable Development Goals (SDGs)

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）のことで、2015年9月、国連サミットで採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標です。

この目標は、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

SDGsは、発展途上国のみならず先進国自身が取り組む普遍的なものであり、我が国も積極的に取り組んでいます。

本レポートについて | About this Report

SDGsは持続可能な社会を実現するための世界共通の課題・目標であり、この達成に貢献することが当社自らの持続的な成長に繋がると考えています。

本レポートは、当社のSDGsへの取組みを紹介するものであり、本レポートを通じて、共にSDGsの達成に貢献する方々とのパートナーシップのきっかけになれば幸いです。

これまでの歩み | Approach to the SDGs

2018年	9月	環境技術センターにおいてSDGs の取組みスタート	
2019年	6月	SDGs の全社展開スタート	P3
	7月	2019 年度　TCC × SDGs プロジェクト募集開始	
	8月	2019 年度SDGs アンバサダー就任	
	9月	2019 年度 第1 回SDGs カンファレンス開催	
2020年	5月	2020 年度　TCC × SDGs プロジェクト募集開始	
	6月	2019 年度　SDGs 報告書発行	
	7月	2020 年度SDGs アンバサダー就任	
		2020 年度 第1 回SDGs カンファレンス開催	
	10月	地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム(内閣府)へ参加	
2021年	1月	JAPAN SDGs Action Platform（外務省）へ参加	
	2月	TCC × SDGs パートナーシップ協定運用開始	
	3月	SDGs AICHI EXPO 2020 オンライン開催へ出展	
	5月	2021 年度　TCC × SDGs プロジェクト募集開始	P6
	6月	2020 年度　SDGs 報告書発行	
		SDGs パートナーシップ協定第1号締結	P19
		SDGs de 地方創生公認ファシリテーター2名養成	P18
	8月	2021 年度 第1 回SDGs カンファレンス開催	P4
	10月	SDGs AICHI EXPO 2021へ出展	P17
2022年	1月	名古屋市立丸の内中学校ビオトープ移設プロジェクト開始	P16
	3月	生物多様性とSDGs多世代フォーラムへ出展	P16
	5月	新たなトップコミットメントを宣言	
		2022 年度　TCC × SDGs プロジェクト募集開始	

当社は、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

SDGsに賛同します

2015年9月の国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。アジェンダには、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成された2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs)」が掲げられています。SDGsは、政府や市民社会の他に、民間企業も達成に向けた役割が期待されており、あらゆるステークホルダーが連携することも求められ、地球上の誰一人として取り残さない（leave no onebehind）ことを表明しています。

当社は、環境（Environment）に配慮した事業活動、社会・地域（Social）への貢献や労働環境の改善、収益を上げつつ社会から信頼を得る経営（Governance）などのESG要素を重視するとともに、社会の一員として、持続可能な世界の実現を目指すSDGsに賛同し、取り組みを進めていきます。

変わりゆく事業環境をチャンスへ変える

中部電力グループの一員として、電力は重要な経済インフラであることを自覚し、安全かつ安定的なサービスを提供するとともに、当社の中核事業であるエネルギーと環境にかかわる技術や役務のサービス提供を通じて、SDGsの達成に貢献することを基本的な考えとします。

国内の電力自由化をはじめ、世界のエネルギーをめぐる状況は、近年大きく変化しています。当社は、新しい事業領域に挑戦することで、従業員の働き甲斐や励みにも繋げ、社会課題の解決のほか、社会・地域と共生して、社会の発展に貢献する活動に取り組んでいきます。

従業員が個々の能力を最大限に発揮できる職場へ

当社の最大の経営資源は人財であり、風通しの良い明るく元気な職場を作るとともに、従業員が誇りを持って働ける職場作りを進めます。

当社は、安全な労働環境を大前提に、従業員の心身の健康維持・増進を目指した「健康経営」を推進し、全ての従業員に平等な機会を与えるとともに、人権が尊重されるようパワーハラスメントの防止に努めるなど、人格や個性、多様性を尊重する職場環境をめざしていきます。これにより、SDGsの達成に向けて個々の従業員が持てる能力を最大限に発揮していくことを期待します。

2019年6月1日

株式会社　テクノ中部

代表取締役社長　深澤　元喜

SDGs カンファレンス | SDGs Conference

2021年8月25日、当社本店6階講堂において、「2021年度　第1回SDGsカンファレンス」を開催しました。SDGsカンファレンスは、当社のSDGsの取組を広く社内外に知ってもらうとともに、SDGsについて理解を深めるための当社のオリジナル企画です。2021年度 の第1回のカンファレンスは、新型コロナウイルスの感染拡大防止ため、参加人数を限定し、Webを併用するハイブリッド方式で行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し開催しました。しかし、第2回SDGsカンファレンスは、当初の予定を 延期しましたが、国内でのまん延防止や安全確保の観点から中止としました。

カンファレンス前半は、事務総長を務める深澤元喜社長による開会挨拶の後、全18プロジェクトの代表者によるプロジェクトの紹介、プロジェクト参加者による宣言の採択を行いました。
カンファレンス後半は、 長野県飯田市で造園・緑化に取り組んでいる文吾林造園株式会社代表取締役社長の原 孝昭様よりご講演を賜 りました。

1．開催日：2021年8月25日（水）　13：10～15：00
2．場　所：株式会社テクノ中部　6階 講堂（名古屋市港区大江町3-12）
3．内　容：
・SDGsプロジェクトの成果報告・活動予定
・2021年度宣言文の紹介・採択
・講演会　演題：『未来へ　造園会社が考える、貢献できる持続可能な未来』
講師：文吾林造園株式会社（TCC×SDGsパートナー企業）
代表取締役　原　孝昭　様

深澤社長による開会挨拶

プロジェクト紹介

文吾林造園原社長による講演

2021年度宣言書の紹介

2021 年度

TCC×SDGs

宣　言　書

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、
世界も当社も持続的に発展させる決意を持ってここに宣言します。

1. エネルギーと環境にかかわる技術力の向上、持続的な「かいぜん」による安全と品質の確保、商品・サービス力の向上により企業価値を高め、お客様・地域・社会の信頼に応えます。
2. ゼロエミッション・自然共生・循環型社会の実現をはじめとする環境・社会・経済の課題解決に貢献する新たな技術・サービスの導入や新たな事業領域へ挑戦します。
3. SDGs を共通言語としたコミュニケーションにより、社内外の相互理解・パートナーシップをより強固に構築します。
4. 従業員の多様な個性・価値観を活かし、個人も組織も充足し発展できる明るく働きがいのある職場を目指します。

全 17 ゴールのうち、以下の 14 のゴールを主軸に取り組みます。

2021 年　8 月 25 日
プロジェクト参加者一同

TCC | SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
株式会社テクノ中部は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

2021 年 8 月 25 日に開催した「SDGs カンファレンス」において、プロジェクト代表者が一堂に会し、それぞれの活動を紹介し、プロジェクト参加者による宣言文の採択を行い、当社の持続的発展を目指し活動を推進すること宣言しました。

2021 年度　SDGs プロジェクト ｜ SDGs Projects in 2021

No.	プロジェクト名	概　　要	関連ゴール
01	「風の守人」として風力発電所の安全運転と保安の確保によるクリーンエネルギーの提供	「グリーンエナジーたはら」風力発電所の運転保守管理・設備管理を通じて、クリーンエネルギー供給の一翼を担う。	7
02	浜岡前面海域・豊かな海 藻場と磯根資源の回復を目指して	中期目標60%から長期目標100%に向かってカジメ藻場を拡大させ磯根資源の回復を目指す。	12 14
03	浜岡原子力発電所で発生する放射性廃棄物の削減に取り組み、クリーンなエネルギーである原子力発電の再稼働に貢献しよう	浜岡原子力発電所の運転および廃止措置にて発生する放射性廃棄物について、再利用促進、廃棄物の適切処分により廃棄物の発生量ならびに保管量を削減する。	4 7 9 11 12 13 17
04	取引先とのパートナーシップでSDGs達成に貢献！	パートナーシップで協業ビジネスを更に進め（PCB分析と廃棄物処分案件を全国大で受注継続、溶接ヒューム、アスベスト分析等の新規受注）SDGsに貢献する。	3 11 12 17
05	安全・品質キャラバンの実施	テクノ中部が、持続可能な会社であり続けるための基盤となる安全文化の醸成を目指して、安全・品質キャラバンを実施する。	7 8
06	2021年度TCC×SDGs事務局運営	SDGsの全社展開とProjectの推進を積極的にリードし、社外パートナーとの協業拡大により、社会から必要とされる会社となる。	4 8 17
07	屋上ビオトープ管理運営	屋上ビオトープの管理、活用を行う。	4 15 17
08	プロジェクトYAGI	ヤギ除草の事業化を通じて、地域の課題を解決し、SDGsに達成に貢献する。 ヤギ除草事業の最適化、NPOとのﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟによる事業モデルの検証。	2 4 8 9 11 12 13 15 17
09	かいぜんの輪 （PDCAの輪、横展の輪）	かいぜんの取り組みをプロセスかいぜんにシフトすることにより生産性を高め、当社の企業価値を向上させるとともに人財の余力を確保し、外販力を強化する。	2 3 4 5 6 7 8 9 11 12 13 14 15 17
10	地域活性化を担う新たな産業創出を（海ぶどう工場）	完全室内型の海ぶどう養殖事業を実現するための研究開発を行い、新規事業化することで、当社の売上と地域活性化のコベネフィットを狙う。	2 6 8 9 11 13 17
11	環境・海事の技術で洋上風力を実現	2050年カーボンニュートラルの達成に向け、環境アセスメント、海事コンサルタントを通じて洋上風力発電の実現を目指す。	7 8 9 11 12 13 14 15 17
12	ＴＤＰ　～ﾃｸﾉ・ﾀﾞｲﾊﾞｰｼﾃｨ推進・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ～	全ての従業員が多様な個性・価値観を生かし、様々な能力を十分に発揮できる環境を目指す。	4 5 8 17
13	碧南事業所　品質不適合無（なし）の継続によりお客さま信頼度のさらなる向上を図ろう	碧南事業所の品質不適合無日数を延伸し,所員の持続的な安全意識の高揚を図るとともに,お客さまからの更なる信頼獲得に努める。	7 9
14	ドローン活用プロジェクト	ドローン・資機材・要員を部門を超えて活用し、環境で培った技術を汎用化し、パートナー企業との協業で、ドローンによる設備点検業への参入を目指す。	7 9 11 17
15	Public relations (Tcc2021)	当社の取組みを各種ツールで社内外に発信し、当社ブランディングの向上を目指す。	4 8 17
16	土壌調査から汚染土壌処理まで一貫したサービスを提供しよう	土壌調査から汚染土壌処理まで一貫したサービスを提供できるスキームを作る。	3 11 12 15 17
17	project　灰カツ	石炭火力の副産物フライアッシュとクリンカアッシュは土木建築材料として有効利用できる。この事を広め、使ってもらい、資源を有効にリサイクルする。	9 11 12
18	エコマークとるぜ！	エコマークの取得により、テクノ中部の環境取り組みを社会へ発信していく。	9 11 12 13 14 15 17
19	丸の内中学校ビオトープ移転（丸の内DASH）	SDGsパートナーシップ企業と協働し、名古屋市立丸の内中学校のビオトープを移転・復活させる。	4 15 17

Project No.01

「風の守人」として風力発電所の安全運転と保安の確保によるクリーンエネルギーの提供

【活動実績】

・送電量　対前年度比102％（対FS値105％）
・アベイラビリティ　98.1％（目標96％以上）達成

田原リサイクルセンター
風力発電所

Project No.02

浜岡前面海域・豊かな海
藻場と磯根資源の回復を目指して

【活動実績】

Project No.03

浜岡原子力発電所で発生する放射性廃棄物の削減に取り組み、
クリーンなエネルギーである原子力発電の再稼働に貢献しよう！

【活動実績】

*～業務の確実な遂行による**放射性廃棄物の削減**を達成～*

Project No.04

取引先とのパートナーシップでSDGs達成に貢献！

【活動実績】

大手通信事業会社様や放送事業会社様はじめ多数のPCB分析、廃棄物処分支援を実施

【PCB分析・試料採取　実績例】

【PCB廃棄物の処分支援業務　搬出実績例】

Project No.05
安全・品質キャラバンの実施

【活動実績】

2021.10.27 燃料海事部

※安全･品質基本方針の理解度を深めるため、4つの行動指針に関する行動のポイントの説明を行った。

※燃料海事部の安全･品質に関する取り組みや最近の情勢について意見交換をした。
・安全運転の取り組みとして、コメンタリー運転は意識的に実施されている。
・新入社員教育については、対面指導が出来なくて苦労したが、教育資料を電子化して、被教育者に配布することにより、効果的に教育を実施した。
・know-why活動については「自分で法令を調べる」ことにより、「何故、どうして」を理解させている。
・コロナ禍におけるコミュニケーションについては、Web会議を活用し、毎日(朝夕)情報交換をすることにより円滑におこなった。

2021.11.24 火力5事業所
渥美、知多LNG、名古屋港、北勢、上越事業所の代表者各2名にて開催

※安全･品質基本方針の理解度を深めるため、4つの行動指針に関する行動のポイントの説明を行った。

※各事業所の安全･品質に関する取り組みや最近の情勢について意見交換をした。
・車両事故撲滅については、「車両事故のドライブレコーダー映像を使用した勉強会」、「運行管理者による指導」、「事故事例の情報共有」を行っている。
・各事業所とも、時間外削減、業務の多能化などで、かいぜんに取り組んでおり、その際、「安全･品質」はおろそかになっていない。
・know-why活動については、TBMにて作業の目的、その手順の必要性を教えている。
・コロナ禍におけるコミュニケーションについては、社給電話で指示の確認、Web会議の利用などで対応している。

※取り組み紹介後の意見交換では、今日のキャラバンにて得た情報、「他事業所の取り組みを参考にしたい」との意見がでた。

Project No.06
2021年度TCC×SDGs事務局運営

【活動実績】

各Projectの総括、カンファレンスの開催、Expoへの出展、社内ファシリテーターの養成、パートナーシップ協定の締結

①社内研修会の開催（5/27・6/4・6/8）

②公認ファシリテーターの養成（6/12）

③カンファレンスの開催（8/25）

④SDGｓ AICHI EXPO2021への出展（10/22・23）

⑤SDGｓパートナーシップ協定の締結（５社）

パートナーシップ協定締結先（取引先／締結順）	主たる連携分野	関連GOAL
文化林品園株式会社（長野県飯田市）	環境分野	4 8 12
株式会社ダイセキ環境ソリューション（愛知県名古屋市）	環境分野	4 8 12 13
株式会社三光（高取県飛騨市）	環境分野	4 8 9 11 12 13
五大エージェンシー株式会社（愛知県名古屋市）	環境分野	6 7 8 9 12
株式会社千代田テクノル（東京都文京区）	原子力分野	7

⑥ホームページ・TCC便り・中電グループ報・労報　テクノ中部・電氣新聞への掲載

Project No.07
屋上ビオトープ管理運営

【活動実績】

屋上ビオトープ管理を継承していきます。
（田植えの様子2021.5）

2021年度もAELネット環境学習施設スタンプラリーに参加しましたが、コロナ対応で施設閉鎖中となりました。

丸の内中学校ビオトープ移設プロジェクトでは屋上ビオトープのノウハウを活かすことができました。

プロジェクトメンバーはじめ大勢の方々の自由な発想により、「みんなの屋上ビオトープ」を目指します。

Project No.08
プロジェクトYAGI 2021

【活動実績】

～人に、まちに、いきものに、みんなにうれしいヤギ除草～

ヤギ除草の状況

除草ヤギの「ポン吉」と「こい」

ヤギ直立

ヤギも立つ

SDGs AICHI EXPO に出展

ヤギ除草・SDGs学習イベント

ケーブルテレビの取材

地方創生SDGs
官民連携事例へ応募

ヤギ除草を活用した環境・ＳＤＧs学習in 東浦自然環境学習の森
株式会社テクノ中部

愛知県東浦町の「東浦自然環境学習の森」を活用し、企業・NPO・自治体等が連携して、地域の人材育成、地域活性化を目的に、ヤギ除草や環境・SDGs学習を行っています。

Project No.09

かいぜんの輪
（PDCAの輪、横展の輪）

【活動実績】

T - Style（テクノ・スタイル） を実践しよう！

T - Smart Work Style ＝ Simple × Speedy × Smile

よりシンプルに　より早く　笑顔で

かいぜん専任×エキスパート交流会

業務プロセス見える化手法研修

中部電力主催かいぜん検討会
当社発表

社内かいぜん検討会
（wet会議併用）

Project No.10

地域活性化を担う新たな産業創出を
（海ぶどう工場）

【活動実績】

・従来法に対し単位面積当たりの収穫量が10倍以上となる生産技術を確立
・安定生産に向けた各種課題を抽出済み

当社試作品

他社製品例

Project No.11
環境・海事の技術で洋上風力を実現

【活動実績】

【営業】新規のお客様に当社技術のプレゼンテーションを実施し、
新たな事業者とのコネクションの構築を達成
【実務】 2050年カーボンニュートラルの達成に向け、
アセス図書の作成や環境に配慮した風車配置の提案を達成

**新規洋上風力事業の
アセス図書の作成**

**騒音、風車の影による住民への影響を予測し、
環境に配慮した風車レイアウトを検討**

Project No.12
【ＴＤＰ】
～ﾃｸﾉ・ﾀﾞｲﾊﾞｰｼﾃｨ推進・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ～

【活動実績】

ダイバーシティーを推進し、企業の発展や活性化を目指す

【女性活躍推進】一般事業主行動計画
2021年度実績
・採用者に占める女性比率２４％

【イクメン休暇の検討】
２０２２年度から子の出生時８週間以内に連続５日間の特別休暇を付与

【労務懇談会におけるプラスワン休暇の推進】

２０２０年度普通休暇平均取得日数	15.5日
２０２１年度普通休暇平均取得日数	16.4日

育児休職相談窓口リーフレット作成及び掲示

Project No.13

碧南事業所　品質不適合無（なし）の継続によりお客さま信頼度のさらなる向上を図ろう

【活動実績】

品質不適合なし816日継続を達成！（2019.9.2～2021.11.27）
品質不適合なしの継続による風通しのよい職場を目指す

◆碧南事業所員一丸となって
品質不適合なしを継続する！

Project No.14

ドローン活用プロジェクト

【活動実績】

・環境調査への活用実績の拡大
・電力プラント保守点検へのドローンの活用
・他部署との連携・協力体制ルール構築

環境　新規活用業務【海浜植物調査風景】

灰捨地埋立状況報告【灰捨地状況写真撮影】

Project No.15
Public relations（Tcc2021）

【活動実績】

～当社の取組みを社内外に発信し、企業価値向上を目指す～

社内報発行（4月、7月、10月、1月）

ホームページ運用保守

外販用新コンテンツ作成
＜溶接ヒューム濃度測定＞

SDGsの取組みを発信

ホームページ
「SDGsのお知らせ」

Project No.16
土壌調査から汚染土壌処理まで一貫したサービスを提供しよう

【活動実績】

～負の遺産（土壌汚染）を未来に持ち越さない～

詳細調査状況

コア写真

孔内閉塞状況

地下水採取状況

土壌浄化施設イメージ図

Project No.17
project　灰カツ

【活動実績】

～コンクリートの配合にフライアッシュ利用で
ひび割れ抑制、長期強度増進、更に低炭化実現～

ＣＯ２排出量（参考データ）

材料	CO2排出量(kg/t)
セメント	757.9
高炉スラグ	24.1
フライアッシュ	17.9

セメント置換でCO2(740kg/t）削減

CO2排出量　170万kg削減

Project No.18
エコマークとるぜ！

【活動実績】プラスチックスマートに登録することでテクノ中部の活動内容を広めて参ります

掲載！

※プラスチックスマート登録イメージ

他企業のプラスチック有効活用事例

Project No.19
丸の内中学校ビオトープ移転（丸の内DASH）

【活動実績】

～丸の内中学校のビオトープ移転をパートナーシップで成功させよう！～

池の造成（1/11）

一本松の植樹（1/11）

植物の移植（3/15）

畑の造成、苗の植樹（3/15）

生物多様性とSDGｓ多世代フォーラムで取組事例を紹介（3/6）

このプロジェクトは、当社が出展した「SDGs AICHI EXPO 2021」において、同じく出展されていた名古屋市立 丸の内中学校の先生から、老朽化が進んだビオトープの移設について相談を受けたことから始まりました。

このプロジェクトにおいて当社は主にビオトープ移転計画へのアドバイスを担当いたしました。ビオトープ造営については、SGDsパートナーシップ協定企業であり造成ノウハウを有する文吾林造園㈱と、土木工事のスキルを有する五大エージェンシー㈱に協力を求め、丸の内中学校の皆さんと一緒にビオトープの移設をしました。

この活動の様子は「中日新聞(2022年1月12日)および電氣新聞(同年1月14日)に掲載されました。また愛知県が主催する「生物多様性とSDGs多世代フォーラム(2022年3月6日)」においても報告いたしました。

作業後の集合写真

生物多様性とSDGs多世代フォーラム

2021年10月22日、23日「地球・まち・ひとが共生できる社会へ～多世代パートナーシップでつくるＳＤＧｓあいち」をテーマに「SDGs AICHI　EXPO2021」が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、オンラインでの開催となりましたが、今年度は感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されたため、初のリアル開催となり、多くの企業、自治体、学校等が出展されました。

当社の出展内容としましては、2020年度・2021年度のＳＤＧｓプロジェクトのうち、「屋上ビオトープ」「遺伝子解析」「ヤギ除草」「浜岡前面海域・豊かな海プロジェクト」「小型ＵＡＶ（ドローン）調査」「洋上風力発電支援事業」のパネル展示や動画放映、昆虫標本やドローン等の実物展示、また、家族連れのイベントとして、「ペットボトル顕微鏡作り」、その他、ランドプラス（クリンカアッシュ）の配布を行いました。当社の活動に関心をお持ちいただいた多くの企業、自治体、学校関係者、学生等の皆さまに当社ブースへお越しいただき、情報交換を行うこともできました。

ペットボトル顕微鏡作りは中高生などに人気で、２日間とも満員となり、ランドプラスについても、用意した110袋が２日目中盤ですべてなくなりました。

今回のＥＸＰＯ出展により、新たなパートナーシップ協定先、協業先との連携が始まるものと期待されます。今回の出展にご協力いただいた皆さまに御礼を申し上げます。

「浜岡前面海域・豊かな海プロジェクト」
育成したアワビを放流

当社ブースの様子

ペットボトル顕微鏡作り

SDGsファシリテーター | SDGs Facilitator

SDGsの考え方をヒントに地方創生における対話や協働などの重要性を学ぶカードゲームが、「SDGs de 地方創生」です。このゲームを開催するためには「SDGs de 地方創生公認ファシリテーター」に依頼する必要があります。

当社では2021年6月に2名のファシリテーターを養成しました。これらのファシリテーターにより、社内やパートナーシップ先等におけるSDGsの研修を実施いたします。

Certificate
SDGs de LOCAL Facilitator 認定証

認定番号

石上 みちる 殿

あなたを、SDGs de 地方創生
公認ファシリテーターとして
ここに認定いたします。

2021年6月12日

特定非営利活動法人イシュープラスデザイン
株式会社プロジェクトデザイン

社内研修会 | Workshop

当社は、従業員のSDGsへの理解を深め社会に貢献することを目的とし、階層別の研修を実施しています。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止ためオンラインにより、以下の研修会を開催しました。

SDGs基礎研修
- 開催日：5月27日、6月4日
- 新入社員をはじめ全社から31名が参加

SDGs研修会
- 開催日：6月8日　15：00～17：00
- ファシリテーター：中部大学経営情報学部准教授 伊藤佳世様
- 課長・副長クラスを中心に37名が参加

SDGsパートナーシップ協定 | SDGs Partnership Agreement

SDGsにおいては、官民をはじめ、学校、NGO・NPO、企業等多様なパートナーと連携することが推奨されています。本協定の取組みは、協定先の企業・団体等およびそれらで構成するネットワークにおいて、SDGsの取組みを相互に支援、協力することで、その活動等を発展させていくことをねらっています。なお、ビジネスパートナーとしての協業は条件としていません。

パートナーシップのイメージ図

2021年度には以下に示します５社とパートナーシップ協定を締結いたしました。当社は、今後も引き続き、多様なパートナーとの協定拡大に取り組み、社会課題の解決、SDGs達成に貢献してまいります。

協定締結先（敬称略／締結順）	主たる連携分野	関連 Goal
文吾林造園株式会社（長野県飯田市）	環境分野	11 15 17
株式会社ダイセキ環境ソリューション（愛知県名古屋市）	環境分野	11 14 15 17
三光株式会社（鳥取県境港市）	環境分野	4 11 12 14 15 17
五大エージェンシー株式会社（愛知県名古屋市）	環境分野	6 8 11 15 17
株式会社千代田テクノル（東京都文京区）	原子力分野	7

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS REPORT 2021

TECHNOCHUBU Company, Ltd.

We support the Sustainable Development Goals